

一緒に走った仲間たち



右から渡邊君、岳君、吉見、森北さん、萩田さん。アデレードのレストランで当地に留学している私の友人の息子さん岳君と食事。

ひとつで書き世界一周の旅について

下図は渡邊君が取得した位置情報の図である。ケアンズから出発して右回りに回りケアンズに帰ってきた。吉見は「ひとつで書き世界一周の旅」を自論んでいる。第一回は2012年、渡邊君と中国西安を出発し、バスやヒッチハイクでチベット地域、タクラマカン砂漠をまわり西安へ帰ってきた。この記録は『地球迷走 中国の辺疆に行く』(1600円税込)に記録されている。第二回は2013年前回の最終地点西安から南下して、ベトナム ラオス カンボジア タイ ミャンマー タイ マレーシア シンガポール インドネシア、そしてインドネシアの島々を伝わってオーストラリアのダーウィンに着きそこからバスでブリスベンまで行った。これは近日『地球迷走 南南東へ進め』にまとめるつもりである。第3回は今回の旅でブリスベンからスタートしてケアンズに着いた。次回はケアンズからバスで出発してダーウィンまで行き、そこから東チモールへ渡り、再びイン

ドネシアの島々を渡りアジア大陸に入る予定である。「ひとつで書き」の旅行であるから、必ず前回の最終地点からスタートしなければならないのである。この旅は最後はアルゼンチンから南極大陸へ渡って80歳までに終了する予定である。途中、どの地域を行くにしても同行者を募集しています。同行者なき場合は吉見の一人旅となります。先にも書きましたが、4年後はアフリカ大陸1周3か月の旅を萩田さんと予定しています。全10巻の旅行記にします。応援してください。(この紙面に使った大部分の写真は憧憬写真家渡邊翔一氏の提供によるものです。)

